

株式会社カワタ

2025年3月期 決算説明会

質疑応答 Q & A

(今回は、説明会会場およびウェビナー形式にて質疑応答を実施しております。)

2025年6月6日

決算説明会（2025.6.6）質疑応答Q & A

Q： 苦戦する状況が長引いている印象だが、どのくらいの時期に底入れを見ていらっしゃるのか？併せて、次は何が牽引していくのか？

A： 米国関税の影響など不透明な状況だが、この政策は長く続かないと考えている。今年度前半の売上は前期までに受注したもののなので、ある程度見えている。後半に向けては自動車メーカー、Tear1-2 の部品メーカーも投資が見えづらい状況であり、設備投資について数か月は様子見の状況が続くと予想している。関税の影響の方向性がある程度見えれば、設備投資が全く凍結するということもないと考えており、今年度後半から来年にかけて徐々に回復に向かうのではないかとみている。

また、非プラスチック分野を伸ばしていきたいが、売上の数十％を占めるにはまだ時間がかかるため、射出成形機・押出成形機のプラスチック分野、電気自動車向けリチウムイオン電池・全固体電池が来年度以降は回復するのではないかとみている。

決算説明会（2025.6.6）質疑応答Q & A

Q： 配当予想は41円の維持からついに下振れたかという印象もあるが、DOE2%であれば36-37 円でもいいのではないかと思う。38 円にした意図はあるのか？ 38 円であれば41 円でいいじゃないかという気もするがどうか？

A： おっしゃる通りで36-37 円がDOE2%ということになるが、我々としては安定性を考えると2%は最低ラインと考えており、一方では、業績が良い時に最低でも配当性向30%以上で還元したい。来年度以降の回復に合わせて、気持ちとしては40 円やそれ以上を目指していきたい。今回はそのあたりの考え方も含めて38 円とさせていただいた。

(以上)

本日はありがとうございました

粉体・粒体加工技術をベースに 新素材開発の未来を切り開く

IRに関する
お問い合わせ先

株式会社カワタ 総務人事部

電話：06-6531-8211
e-mail：ir6292@kawata.cc

IRに関する
担当執行役員

管理部門統括 福岡孝一

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。